

山菜を食べる会記録

日 時：平成 25 年 4 月 26 日（日） 12.00～14.00

場 所：エゴの木広場

参加者：20 名

活動内容：

青い鳥の谷の奥まったところに、ちょっとした平地がある。そこにテーブルを作った。すぐ横にエゴの木があって、まもなく花がさくので、エゴの木広場と名付けている。メインはコシアブラである。以前から目をつけていたホワイト尾根はずれに立つ巨木のうち、細いのを切り倒した。大量の新芽が確保できたことはいままでのない。お土産にも持ち帰ってもらった。こういうときには天ぷら鍋を扱う名人がいるもので、高温を維持してこんがり仕上げてくれた。なにしろこんな山菜は生れて初めて食べたという人が多く。大変な賑わいになってしまった。とにかくたった今摘んできたばかりのセリ、ウド、ミツバ、タラの芽、フキの葉、タケノコ、シイタケ、ギボウシなどが次々揚げられて、作る方は大忙しだった。参加者も大いに満足であったらう。とにかく比叡平の住宅のすぐ傍で、あらゆる種類の山菜を堪能できたという喜びは大きい。もっとも自然の山菜は減少しており、今日食べたものの多くは裏庭で栽培しているものをいただいている。これからは自然に生えたものを自由に採取できるようにしたい。

以上

